

三真

真実を求め
真実を語り
真実を行ふ



令和5年度妻中学校だより

10月号

校長

伊東 泰彦



妻中H.P

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

文武両道の妻！ 秋桜祭・体育の部／文化の部大成功!!

本校では昨年度より、従来の体育大会と文化祭を合わせて秋桜祭(しゅうおうさ)と名付け、10月初旬の土日に同時開催としていきます。今年は天気予報で日曜日が雨天だったため、体育の部を土曜日、文化の部を8日の日曜日に実施しました。限られた練習時間

練習時間しかありませんでしたが、保体部長・長友健太朗さん、副部長・竹田真緒さん、赤団長・奥口彩人さん、青団長・佐藤裕紀さんの下、全校生徒が団結し、素晴らしい盛り上がりでした。各学年の団技も、生徒と職員が考案した新種目で楽しませてくれました。



選手宣誓



エール交換



エネルギッシュな応援合戦



工夫された団技・3年騎馬っていこうぜ!



団対抗リレー



学級対抗リレー



青団がW優勝!



文化の部・オープニング



英語暗唱・弁論



合唱コンクール最優秀賞・3年3組



最優秀伴奏者賞
3年河野亜海さん



吹奏楽部の演奏



最優秀指揮者賞
3年川畑陽菜さん

文化の部は、体育の部の翌日に行いました。生徒会のユニークなオープニング動画で幕を開け、地区を代表するハイレベルな英語暗唱・弁論で雰囲気を引き締めました。合唱は前日に声を出し過ぎ、声が出にくかったとは思いますが、三年生の合唱はどのクラスも驚くほどのレベルの高さでした。最後に吹奏楽の演奏で幕を閉じましたが、妻中のすばらしさを改めて感じさせる二日間でした!

スポーツの秋②・地区中体連での活躍

今回も多くのチーム・個人が好成績を収めました。

- | | | |
|--------|-----------|---|
| 団
体 | 優勝 | バドミントン男子団体、バスケット男子、サッカー柔道女子団体、共通女子4×100mリレー |
| | 2位 | 共通男子4×100mリレー、バレーボール男子バドミントン女子団体 |
| | 3位 | ソフトテニス女子団体、バスケット女子 |



バドミントン男子シングルス:2位齊藤遥真、3位中山瑞稀/男子ダブルス:1位沼口大介・矢野遼介、2位清水伶・外山皓也、3位黒木琉乃介・森田己太郎/女子シングルス:2位花泉真愛昌、3位田中心結/女子ダブルス:3位有馬一華、林綺星 **ソフトテニス男子** 2位池田・今井ペア **ソフトテニス女子** 5位星原・湯地ペア、9位末吉・松本ペア **陸上** 1位共通男子400m 高塚元期(大会新)、2年女子100mH 大坪由奈(大会新)、2年女子800m 松岡茉莉明(大会新)、1年女子800m 宮野原玲奈、2年女子200m 森久晴、共通女子1500m 小畑めぐ、共通男子走幅跳・肥田木晃明/2位1年女子80mH 中武明音、2年男子1500m 八木海音、1年男子1500m 楠泰駕、共通男子400m 緒方琉翔、2年女子200m 林心翔、共通女子砲丸投げ左官李桜奈、/3位2年男子3000m 河野柗輝、共通男子800m 中尾墨翔 **柔道個人優勝** 西田実和、土持向日葵、本庄心和、齊藤純恋、橋口颯太

三真の轍わたち

「文武両道」考 妻中学校では、昨年度より従来の体育大会と文化祭を合わせ、10月初旬の土日に「秋桜祭」というイベントを開催しています。このスタイルは高校では夏休み明けなどに行われていますが、準備が重なる大変さもあって公立中学校では行われていませんでした。私たち妻中初赴任者も当初は「生徒たちは両方の準備・練習をうまくやれるのだろうか？」等といった心配が心の片隅にあったのですが、実際に動き出してみるとその不安は全くの杞憂であり、生徒や見る者の心に残る実に見事な行事となりました▼実は本校は、この十年以上教育目標に「文武両道」を掲げており、私も本年度はこの目標を踏襲しています。今回の秋桜祭では、体育の部の爆発的な熱量と、文化の部のアカデミックな演目とが共鳴し、主役である生徒たちや観客の心にシナジー(相乗効果)をもたらしていたような気がします。これまでも妻中が掲げてきた「文武両道」という言葉がここに顕現したのだろうか：そんな伝統の力を感じる気もしました▼文武両道は、武士が世の中を治めていた鎌倉、江戸時代のリーダーに求められてきた資質であり、江戸時代の学者・中江藤樹は「文と武は元来一つの徳であつて分かつことはできない。武なき文、文なき武は共に真実の文ではなく、武でもない」と述べたそうです。これからの社会を担う生徒たちにもこうした資質は必要だと思われれます。本校は三年後に西都中再編を控えており、秋桜祭についても同時開催の可否をはじめ、保護者席のスペースや駐車場問題などの検討課題が山積しています。生徒やPTA、地域の方々々と協議しながら、妻中の「良き伝統」を西都中へうまくバトンタッチしていくためにも、ここ数年の私たちの使命は大きい：そう感じた秋桜祭でした。(校長 伊東泰彦)

お礼 -本校第35回卒業生等の皆様へ-

実は、本年度の秋桜祭・体育の部実施にあたって最も気になっていたのはグラウンド整備でした。草が根を張って草原のようになっていましたので(写真上)、かなりの作業が必要でした。

PTAや妻中応援団の他、保護者の大崎さん、横山さん、木本さん、中基興業の中武さんには重機などでの作業を行っていただき感謝しております。加えて、本校の第35回卒業生(昭和56年度)等有志の方々にはグラウンド整備用の土を寄贈していただきました。おかげをもちまして、右写真のように本校のグラウンドが生まれ変わり無事に体育の部を実施することができました。ご寄贈いただきました皆様に深甚の謝意を表します。本当にありがとうございました。



整備前(上)と整備後(下)のグラウンド